

令和3年度 評価事業一覧

No.	事業名	担当課名	班名	令和3年度 評価
1	放課後児童健全育成充実事業	教育推進課	幼児総務班	A
2	就学援助事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
3	奨学資金事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
4	学校生活支援員配置事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
5	学力向上対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
6	友好都市との学校間交流推進事業 (旧 友好都市等との学校間交流推進事業)	教育推進課	教育総務・指導班	A
7	官学連携事業	教育推進課	教育総務・指導班	-
8	子どもの感性・創造力育成事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
9	不審者対策事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
10	ふるさと学習教材編集事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
11	新聞活用教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
12	外国語教育充実事業	教育推進課	教育総務・指導班	B
13	ホストタウン推進事業(中学生交流事業)	教育推進課	教育総務・指導班	B
14	ICT活用教育推進事業	教育推進課	教育総務・指導班	A
15	家庭教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
16	青少年教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
17	成人教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
18	高齢者教育事業	生涯学習課	社会教育班	A
19	芸術鑑賞事業	生涯学習課	社会教育班	A
20	学友館等企画展開催事業 (旧 芸術文化活動事業)	生涯学習課	歴史文化財班	A
21	芸術文化団体支援事業	生涯学習課	社会教育班	B
22	学習成果発表事業	生涯学習課	社会教育班	-
23	美郷カレッジ開催事業	生涯学習課	社会教育班	A
24	伝統行事等伝承事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
25	成人式事業	生涯学習課	社会教育班	A
26	後三年合戦関連事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
27	わら細工文化事業	生涯学習課	歴史文化財班	-
28	ブックスタート事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
29	読書環境向上事業	生涯学習課	歴史文化財班	A
30	文化財保護事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
31	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	歴史文化財班	B
32	ニュースポーツ教室等事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
33	冬期スポーツ教室事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
34	少年スポーツ振興事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A
35	町民スポーツ大会事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
36	スポーツ活動支援事業	生涯学習課	スポーツ振興班	B
37	ホストタウン推進事業(交流キャンプ推進事業)	生涯学習課	スポーツ振興班	A
38	聖火リレー運営事業	生涯学習課	スポーツ振興班	A
39	企業連携事業費	生涯学習課	スポーツ振興班	A

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	放課後児童健全育成充実事業	担当課名	教育推進課
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	幼児総務班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2408)
事業の目的	放課後や長期休業時、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。		
事業の内容	保護者が帰宅するまでの間、児童の保護及び遊びを主とした健全育成活動を行うとともに、その環境を整える。		
事業の対象	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校児童		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	15,648 千円 ※人件費総務課管理	13,467 千円 ※人件費総務課管理
			令和4年度予算 13,427 千円 ※人件費総務課管理
評価年度目標 (目指すべき姿)	放課後や長期休業時に、就労等の理由により保護者が不在となる家庭の小学校1年生から6年生までの児童に対し、安心して過ごせる生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。		
実績・成果等 (数値)	- 令和元年度に「高学年児童放課後対策事業」と「放課後児童健全育成充実事業」を一本化した。 - 就労等の理由で保護者が放課後時間帯に監護できない児童に対し、安心して過ごせる場所を提供することができた。 - 希望する全ての児童を引き受けることができた。 - 令和3年度登録数 289人(令和2年度登録数 315人) - 支援員又は支援補助員が県主催の研修を受講し、資質向上を図った。 - 放課後支援者研修会(参加者数 6人) - 放課後児童支援員等資質向上研修(参加者数 5人) - 放課後児童支援員認定資格研修(参加者数 3人)		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☒ 達成できている		
	☐ おおむね達成できている		
内部評価	☐ 達成できていない		
	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明及び考察	「美郷町放課後児童クラブ運営基準」と、日常の安全管理体制や事故発生時の対応、食物アレルギー対応も考慮した「安全管理マニュアル」を作成し、職員の質の確保、子どもの受入れ体制の充実、安全対策の充実をはかることができた。 今後も現水準を保ちながら、放課後児童クラブが果たすべき役割及び機能を適切に発揮できるよう事業を推進していきたい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	事業開始から長くなり、当たり前のものとして感じつつあるが、親が働きに行くためには、安心して子どもを預けられる必要がある。この事業は、社会生活を支える上で、とても大切なため、今後も是非継続していただきたい。

事業評価シート

事務事業名	就学援助事業	担当課名	教育推進課
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)
事業の目的	経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な経費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。		
事業の内容	生活に困窮していると認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費、医療費等の給付金を支給する。		
事業の対象	生活保護法(昭和25年法律第144号)第6条第2項に規定する要保護者とそれに準ずる程度に困窮していると認めた者		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	9,502 千円	7,739 千円
			令和4年度予算
			11,587 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	小・中学校児童生徒の全保護者への個別通知及び町広報紙や町づくりガイド、町ホームページへの掲載のほか、関係課(福祉保健課等)・各学校と連携して制度の周知を広く行い、就学に必要な経費を補助し、教育機会均等の保持を図る。		
実績・成果等 (数値)	・小・中学校児童生徒の全保護者への個別通知及び町広報2月号・町づくりガイド、町ホームページに掲載し、広く制度の周知を行った。また、関係課や各学校と連携を図った。 ・社会情勢の変化に伴う経済的影響を受けている保護者の負担軽減の一助となった。 ・令和3年度就学援助児童生徒数 小学生54人 中学生40人 計94人 (令和2年度 小学生65人 中学生38人 計103人)		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明及び考察	関係課・各学校と連携しながら制度の周知を行い、就学援助認定者の経済的負担を軽減している。社会情勢や経済・雇用情勢の変化等に応じ、適宜適切に制度の見直しを図っている。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。		
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で修学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高等学校 月額15,000円 ・高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学 月額40,000円以内(1万円単位)		
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者。 (1)身体強健、品行方正で学業優良な者 (2)美郷町住民の子弟 (3)学資金に困難な者		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	7,819 千円	8,239 千円
			令和4年度予算
			14,481 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	①貸与:予算の範囲内で、経済的理由等により修学困難な者に学資を貸与し、有用な人物の育成を目標とする。 ②償還:歳入確保に向けて、返還者一人一人の経済状況に応じた返還計画に基く償還、また未納者に対しては催告の回数を増やす等対策を行い、回収率の向上に努めることを目標とする。		
実績・成果等 (数値)	①貸与 ・町広報紙(3月号)と町ホームページで奨学生募集について周知した。応募者は大学卒2人、専修学校卒1人、高等学校卒1人で、選考の結果全てに貸与が決定した。 歳出(貸与):令和3年度奨学生貸与者数19人(内新規貸与者数4人) ②償還 ・返還者との納付相談、また未納者への通知、電話、訪問等の対策により回収率の向上に努めた。 歳入(償還):収入未済額 3,004,700円、滞納者数 10人 うち令和3年度未納額 208,000円、未納者数 2人 令和3年度収納率 98.76% (前年度比0.64%増)		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☐ 達成できている		
	☒ おおむね達成できている		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	貸与については、予算の範囲内で応募者全てに対応できている。償還については、社会情勢の悪化による経済的影響を受けた方との納付相談、また未納者への電話や通知、訪問等による催告等の対策を行った結果、前年度収納率を上回り、未納額・未納者とも減少することができた。今後も経済的な理由により大学等の修学に困難な美郷町出身学生に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を支援したい。		
事業の 方向性	☒ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	学校生活支援員配置事業	担当課名	教育推進課
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2405)
事業の目的	発達障害や表現力不足など、教育上特別な支援を必要とする児童生徒を指導する教員を補助するために職員を配置し、当該児童生徒の学校生活を支援する。		
事業の内容	学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒のために支援員を配置する。		
事業の対象	町内小・中学校児童生徒		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	6 千円 ※人件費総務課管理	5 千円 ※人件費総務課管理
			令和4年度予算 0 千円 ※人件費総務課管理
評価年度目標 (目指すべき姿)	特別な支援を必要とする児童生徒に、学校生活支援員が適切な支援を行うことで、学校運営が円滑に行われるようにする。		
実績・成果等 (数値)	学校生活支援員の配置数 19人 (内訳:小学校15人、中学校4人) ・小学校:各学校5人で低学年及び特別支援学級を中心に支援 ・中学校:各学年担当1人、特別支援学級担当1名の計4人		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
判定説明及び考察	令和3年度の学校生活支援員は令和2年度と同様、各小学校5人、中学校4人配置となった。配置した学校生活支援員を対象に、町教育委員会主催の研修会を実施し、子どものニーズに応じた支援の充実を図った。一人一人に寄り添った支援の実施により、円滑な学校運営に寄与しており、支援を要する児童生徒が最近増える傾向があることから、学校からは増員配置の要望も含め期待も大きい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	学力向上対策事業	担当課名	教育推進課
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	児童生徒の課題に対応した取組を推進し、学力の向上を図る。		
事業の内容	・基礎学力の定着度調査、計画的な学習を実施するための検査の実施 ・学習状況調査の分析・活用と校内研修改善、授業力向上支援事業の実施		
事業の対象	・学力検査(国語・算数):全小学校1、2、3年生 ・知的発達検査:全小学校2、5年生 中学校1年生 ・校内研修改善・授業力向上研修会		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	996 千円	916 千円
			令和4年度予算
			2033 千円 ※新聞活用教育推進事業費含む
評価年度目標 (目指すべき姿)	学習状況調査と学力検査・知的発達検査の実施により状況を把握し、課題の改善に向けた研修を行う。		
実績・成果等 (数値)	・美郷町校内研修改善・授業力向上推進事業として、秋田大学教授を指導者に迎え、各小中学校で算数・数学の授業研究会を各校1回実施 ・美郷町学力向上授業改善研修会の実施 ・個々の教員の授業改善をねらいとする、全教員一人1回以上の町内他校の授業参観実施 ・令和3年度県学習状況調査(小4～中2)における県平均以上の教科:21教科中14教科 (小学校4年～6年:11教科中10教科、中学校1・2年:10教科中4教科) ・学力検査(小1～小3)における全国平均以上の教科:6教科中6教科		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明及び考察	児童生徒の学習到達度及び課題を分析し、各学校と連携して学力向上に取り組んだ。その成果が県学習状況調査や学力検査の結果にも表れている。今後も児童生徒一人一人の学力を最大限に伸ばしていくために、事業を充実させていきたい。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	友好都市との学校間交流推進事業 (旧 友好都市等との学校間交流推進事業)		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	・農村部と都市部の交流を通じ、児童の豊かな人間性を育む。 ・授業への参加や地域の方々とのふれあいを通して、それぞれの学校や地域のよさ、違い、課題などをつかむ。			
事業の内容	・千畑小学校と港区立御田小学校の交流(昭和52年～) ・仙南小学校と文京区立千駄木小学校の交流(平成27年～) ・六郷小学校と大田区立高畑小学校の交流(平成28年～)			
事業の対象	・千畑小学校4～6年生、御田小学校4～6年生 ・仙南小学校5～6年生、千駄木小学校全校児童 ・六郷小学校5・6年生、高畑小学校全校児童			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	0 千円	0 千円	900 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町や自校の紹介を通してふるさとのよさに気づき、学校や地域に対する考え方 やまわりの人たちとの接し方を見つめ直すきっかけとする。			
実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3小学校ともに訪問と受け入れによる交流は中止となっ たが、次のように交流を行った。 【千畑小学校】地域や学校を紹介する新聞やオンラインでの交流(4年生) 【仙南小学校】地域や学校を紹介する新聞やオンラインでの交流(5年生) 【六郷小学校】地域や学校を紹介する新聞や動画(DVD)での交流(全学年)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている		☐ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
	内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	相互訪問等による交流は中止となったが、3小学校では、新聞や動画、オンライン等、教科 の学習と結び付けた交流活動を実施した。活動を通して、児童は美郷町と交流地域と の共通点や相違点に気付いたり、それぞれのよさを見つめ直したりすることができた。 また、各学校では交流先の学校から届いた新聞等を校内に掲示したり交流の様子を学 校報で紹介したりするなど積極的に取組を発信している。訪問での交流に加え、学習を通 じた交流の充実を図り、継続実施していきたい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり	

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	官学連携事業	担当課名	教育推進課	
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班	
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)	
事業の目的	秋田大学、国際教養大学と町内の園・学校が相互交流を行うことにより、児童生徒に上級学校へのあこがれをもたせ、異文化体験による国際理解を図る。			
事業の内容	秋田大学生による水に関するコンサートの実施、国際教養大学の留学生を園・学校行事に招いたり、大学を訪問したりして交流する。			
事業の対象	町内園児、小・中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	0 千円	0 千円	180 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町内各園、小・中学校が秋田大学、国際教養大学留学生との交流を通して、国際感覚を磨き、視野を広げる。			
実績・成果等 (数値)	・秋田大学・・・美郷フェスタ開催中止に伴い中止とした。 ・国際教養大学・・・新型コロナウイルス感染症の影響により、大学側から本事業の中止の申し出があり中止とした。			
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☐ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない	
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない	
内部評価	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため		
判定説明及び考察	秋田大学生によるコンサートは、水に関する曲を織り込んだ内容で、水環境を大切にする町としてのPRと郷土愛の醸成に寄与する事業である。国際教養大学の留学生との交流は、園児・小学生・中学生の希望に応じた交流活動の実施が可能であり、異文化への興味関心や理解、コミュニケーションへの意欲を高めることが期待できる。両事業とも大学側との連絡調整を密にし、現状を踏まえた工夫改善を図り、事業を実施していくことが課題である。			
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	—	評価委員意見	大学生との交流を通して、その生の声を聴くことは、上級学校へのあこがれを持つことに繋がり、児童生徒へ与える影響は大きい。今後も継続して交流促進を図ってほしい。	

事業評価シート

事務事業名	子どもの感性・創造力育成事業	担当課名	教育推進課	
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班	
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)	
事業の目的	各分野において第一線で活躍している方々の一流の芸術を鑑賞したり、様々な体験を行った りする活動を通して、子どもの感性、創造力の育成を図る。			
事業の内容	・一流の音楽や芸術に触れる鑑賞会の開催 ・自由研究コンテストの実施 ・小学校4年生の宿泊体験活動の実施(宿泊施設:ワクアス) ・小学校6年生の交流会(美郷キッズわくわく交流会)の実施 ・学校交流音楽祭の開催			
事業の対象	・芸術鑑賞「ドリーム体験!ほんもの講座」:小中学校全児童生徒 ・自由研究コンテスト:小中学校全児童生徒 ・宿泊体験活動:3小学校4年生 ・美郷キッズわくわく交流会:3小学校6年生 ・学校交流音楽祭:小・中学校の金管バンド部・吹奏楽部			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	2,931 千円	3,460 千円	4,122 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	第一線で活躍している本物のパフォーマンスに触れたり、興味や関心をもったものに熱中して 取り組んだり、研究を深めたりすることにより、子どもたちの感性を育み、視野を広げる。			
実績・成果等 (数値)	・ほんもの講座:小学校1～5学年「わらび座 劇」大変よかった88.9%/よかった10.7% - 小学校6年・中学校1年「わらび座 劇」大変よかった85.4%/よかった13.7% - 中学校「わらび座 和ライブ」 大変よかった76.7%/よかった21.8% ・自由研究コンテスト:出品数186点(最優秀賞・優秀賞23点) ・宿泊体験活動:初めて家族と離れて宿泊61%、宿泊が楽しかった93.2%(複数回答) ・美郷キッズ交流会:他の学校の人と進んでふれあえた96.8%/協力して活動できた100% ・学校交流音楽祭中止(新型コロナウイルス感染防止のため)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
			☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
			☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
☒ 十分できている		☐ おおむねできている		
		☐ できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている		
		☐ 達成できていない		
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	コロナ禍において令和2年度は中止した「宿泊体験活動」と「美郷キッズわくわく交流会」を実施する ことができた。実施後のアンケート結果からも事業の目的を達成することができたと捉えている。本事業 は、どれも子どもたちの感動や発見を生む貴重な内容であり、コロナ禍においても実施方法や内 容等を工夫し、実施していきたい。			
事業の 方向性	☒ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	芸術鑑賞や様々な体験を行うことで、生の空気を感じ ることは、子どもたちにとって一生の思い出になるの で、さらに重点化して欲しい。	

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	不審者対策事業		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)
事業の目的	子どもたちを不審者から守り、安全な学校生活を送ることができるよう不審者対策事業を行う。また、安全・安心メールを利用した迅速で正確な情報提供を行う。			
事業の内容	・児童生徒の登下校時の見守り活動 ・安全・安心メールによる不審者、危険動物、気象、熱中症、感染症等の情報提供 ・子ども安全集会の開催			
事業の対象	児童生徒、町民の方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	92 千円	98 千円	157 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	・安全・安心メール連絡システムを運用し、迅速で正確な情報を保護者及び関係者に伝え、児童生徒の安全を守る。 ・地域の方との連携により子どもたちを不審者等から守る。			
実績・成果等 (数値)	・スクールガードリーダーや見守り隊員(地域住民・PTA)による登下校時の見守り活動を実施した。 ・安全・安心メール連絡システムは、全認定こども園、小学校、中学校の保護者が登録し、不審者情報の他、危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起などについて、迅速かつ正確な情報を提供した。 ・子ども見守り隊員・子ども110番の家の方々を対象とした「子ども安全集会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
	☐ あまり寄与していない			
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている		☐ おおむねできている	
	☐ できていない			
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	・スクールガードリーダーや子ども見守り隊員による登下校の見守り活動を実施し、子どもたちを不審者等から守ることができた。 ・安全・安心メールにより、保護者等に対し不審者情報のほか危険動物、気象、熱中症及び感染症の注意喚起など、より迅速で正確な情報を伝えることができた。 ・子ども安全集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き令和3年度も開催中止となったが、地域の方との連携・強化を図るためにも実施を継続したい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	ふるさと学習教材編集事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)
事業の目的	将来の美郷を町の内外から担っていこうとするたくましい児童生徒の育成を目指して、美郷町の特色ある自然、歴史、文化、産業、観光、スポーツ、行政、教育などを記載した教材としての本を編集・出版する。		
事業の内容	・学習教材編集委員会の開催 ・学習教材編集のための資料の収集及び執筆 ・学習教材編集のための調査研究 ・学習教材編集に係る校正及び校了作業		
事業の対象	小学校5・6年生及び中学生		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	81 千円	2,828 千円
			令和4年度予算
			2,570 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	町の教育資源を本にまとめて教材化を図り、これを活用しながら学習を展開することで、子どもたちの認識や視野を広げる。また、それを基盤として自らの進路や生き方を考える「ふるさと教育・キャリア教育」を推進する。		
実績・成果等 (数値)	有識者及び学校長を中心に構成される編集委員による編集委員会を2回、編集に係る部会を7回開催し、編集原稿の校正作業を実施した。		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	本年度はプロポーザル形式の委託業者選定を経て編集委員が執筆した原案の原稿化及び校正作業を実施した。令和4年度の校了及び印刷製本に向け、美郷町の特色を生かしながら、児童生徒が読んで新しい発見があり、強く心に残るような内容とするため、継続した編集作業を実施する。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	新聞活用教育推進事業	担当課名	教育推進課
総合計画の施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2404)
事業の目的	親しみや興味をもって新聞を読むことができるようにすることで、社会情勢や文化的なこと等への理解や関心を高めるとともに、読解力や判断力、表現力の育成を目指す。		
事業の内容	小・中学生を対象に、新聞活用教育の推進(H29～) (小学校4年生～中学校3年生に週1回配付)		
事業の対象	・小学校4～6年生 ・中学校1～3年生		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	738 千円	962 千円
			令和4年度予算 — 千円 ※学力向上対策事業へ
評価年度目標 (目指すべき姿)	新聞を読むことで、身の周りの様々な事象に対して、興味関心をもち視野の広い児童生徒の育成を目指す。		
実績・成果等 (数値)	・小中学校ともに5月より対象児童生徒に子ども新聞・中高生新聞を配付 ・美郷中学校はNIEの指定校として、新聞を活用した生徒会による取組や、新聞記事の中から全校共通テーマを設定し、意見交換する取組を行った。本年度は「インスタ『10代の心に悪影響』」という記事を全校共通テーマとして設定して取り組んだ。 ・全国学力・学習状況調査質問紙から(令和3年度結果) 「週1回以上、新聞を読んでいる。」 【小学校6年生:美郷町52.7%、県21.7% 中学校3年生:美郷町66.7%、県17.3%】		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である ☐ おおむね必要である ☐ あまり必要でない		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する ☐ おおむね寄与する ☐ あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている ☐ おおむねできている ☐ できていない		
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている ☐ おおむね達成できている ☐ 達成できていない		
判定説明及び考察	毎週1回の新聞配付や閲覧コーナーの設置に加え、各校では新聞記事を活用した様々な取組が行われており、新聞が児童生徒にとって身近なものとなってきている。授業や家庭学習での活用を通して、社会に対する興味関心の高まりや読解力、判断力、表現力の育成につなげていくことが重要である。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	新聞を読むことによって、社会や地域を知ること、あるいは文章そのものを学ぶことができる素晴らしい事業であり、今後も継続して実施してほしい。

事業評価シート

事務事業名	外国語教育充実事業	担当課名	教育推進課		
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班		
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)		
事業の目的	新学習指導要領に対応した児童生徒への外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。				
事業の内容	ALT(外国語指導助手)3人を小中学校に、英語教育等支援員1人を小学校に配置				
事業の対象	町内小・中学校児童生徒				
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	
	金額	15,964 ※支援員人件費 総務課管理 千円	13,885 ※支援員人件費 総務課管理 千円	17,160 ※支援員人件費 総務課管理 千円	
評価年度目標 (目指すべき姿)	ALTおよび英語教育等支援員を配置し、外国語教育の推進と充実を図る。				
実績・成果等 (数値)	・ALT3人のうち2人を美郷中学校、1人を主に小学校に配置 ・小学校5・6年生の外国語の授業と中学校の英語の授業では、週時間の半数以上(小:週2時間の内1時間、中:週4時間の内2時間)の授業でTT(ティームティーチング)を実施 ・英語教育等支援員を曜日毎に3小学校に配置。専科教員や担任とのTTを実施 ・令和3年県学習状況調査より「外国語活動・外国語の勉強は好きだ」(県平均との比較) 小4:73.8%(−5.5) 小5:75.2%(−2.3) 小6:60.7%(−17.9) 中:71.3%(−1.3) 中2:66.5%(−3.2)				
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)				
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である		☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する		☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている		☒ おおむねできている		☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている		☐ 達成できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	ALTと英語教育等支援員の配置により、各学校の外国語教育のねらいと指導計画に対応した授業を行うことができた。反面、県学習状況調査では、「外国語が好き」と答えた児童生徒はどの学年も県平均を下回った。このことから、楽しく分かりやすい授業づくりが課題であり、教員とALTとの効果的なティームティーチングの充実を図っていく必要がある。				
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり		

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	ホストタウン推進事業 (中学生交流事業)		担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実		担当班名	教育総務・指導班
			電話番号(内線)	0187-84-4914(2403)
事業の目的	タイ王国の言語・風習・文化等にふれながら異文化理解を深め、同年代の中学生と交流することにより、コミュニケーション力や国際感覚を身に付ける。			
事業の内容	美郷町と教育交流協定を締結しているタイ王国ノンタブリー県の中学生と、ホームステイ等を体験し、生きた英語にふれながら、生活様式、習慣等を学ぶ。併せて、タイ王国の自然、文化、歴史、産業等を学ぶ。			
事業の対象	中学校1～3年生			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	34 千円	13 千円	4,129 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	異文化にふれ、視野を広げるとともに、他国の中学生と積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする積極性や態度を育成する。			
実績・成果等 (数値)	・新型コロナウイルス感染拡大により相互訪問交流は中止となった。 ・美郷中学校インターアクト部によるアニュラチャプラシット校へのクリスマスカードの送付(12月) ・美郷中学校インターアクト部によるアニュラチャプラシット校生徒とのメールでの交流(3月)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である ☐ おおむね必要である ☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する ☐ おおむね寄与する ☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている ☒ おおむねできている ☐ できていない			
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている ☒ おおむね達成できている ☐ 達成できていない			
内部評価	B	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	相互訪問交流は中止になったが、クリスマスカードやメールでの交流を行うことができた。美郷中学校ではインターアクト部が中心となった交流に加え、他の生徒を含めた授業等での定期的な交流の在り方についても検討しており、そうした取組を支援していきたい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	ICT活用教育推進事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2407)
事業の目的	・GIGAスクール構想によるタブレット端末を活用して、学習活動の一層の充実を図る。 ・ICT支援員を配置し、学校におけるICT機器が教育活動においてスムーズで効果的に活用されるようサポートする。 ・学習者用デジタル教科書実証事業を活用して児童生徒の学びの充実を図る。		
事業の内容	・タブレット端末や電子黒板等を活用した効果的な教育実践を研究し、活用事例集を作成する。 ・ICT支援員による児童生徒や教師のICT機器活用状況の把握と支援を行う。 ・小学5、6年生及び中学生を対象に学習用デジタル教科書を活用し、学習内容の定着を図ったり、興味関心を高めたりすることの実現を図る。		
事業の対象	児童生徒		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	0 千円	5,726 千円
			令和4年度予算
			4,038 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	児童生徒がタブレット端末や電子黒板を用い、デジタル教科書等のデジタルコンテンツを学びに取り入れることで、より一層の学習内容の定着を図る。		
実績・成果等 (数値)	・令和3年度美郷町小・中学校ICT機器活用事例集を作成した。 ・学校におけるICT機器の利活用が図られるよう、ICT支援員兼GIGAスクールサポーターを1名配置した。 ・学習者用デジタル教科書及び中学校指導者用デジタル教科書を配備した。 ・全国学力・学習状況調査質問紙から(令和3年度結果) 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」 【小学校6年生:美郷町99.2%、県96.3% 中学校3年生:美郷町100%、県96.0%】		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分にできている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	ICT支援員兼GIGAスクールサポーターが町内小・中学校を巡回することにより、ICT機器の利活用が促進された。また、授業でのICT機器利活用への支援や児童生徒への情報モラル教育の面でも効果が高く、今後のICT機器利活用の継続に必要な取組として支援したい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	家庭教育事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	心身ともに健やかな子どもを育むために、家庭教育に関する学習機会を提供する。			
事業の内容	① 就学時健診子育て講座 (南教育事務所 湯野澤兄一氏 小笠原重夫氏 「子どもの伸ばし方ー「やる気」を引き出すコツー」) ② 親力アップ講演会 (ブラボー中谷氏 「考え方次第で世界が変わる」) (秋田大学教授 林 良雄氏「インターネットに潜む危険について」) ③ 幼児期家庭教育講座 各こども園で園児と保護者が一緒に受講			
事業の対象	① 就学時健診対象児の保護者 ② 小中学校PTA会員、認定こども園保護者会員 ③ 各こども園園児、保護者			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	68 千円	75 千円	514 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	家庭や地域全体で子育てや教育を応援し支えていくための学習機会を提供する。 講座満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	① 満足度 88.06%、受講者数 134人(千畑 40人、六郷 47人、仙南 47人) ② 満足度 83.13%、受講者数 249人(美郷中学校会場91人、六郷小学校会場129人) ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である ☐ おおむね必要である ☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する ☒ おおむね寄与する ☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている ☐ おおむねできている ☐ できていない			
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている ☐ おおむね達成できている ☐ 達成できていない			
判定説明 及び考察	①家庭教育を充実させるための心構えや、インターネットセーフティーについて県の協力により実施した。 ②学校、PTA、保護者会、PTA連合会と連携し、多くの方々から受講していただくことができた。講座の満足度も高く、事業の継続を求める声も多い。 ③新型コロナウイルスの状況を踏まえ急遽実施を見送ることとなった。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、様々な体験活動や学習の場を提供する。		
事業の内容	① わくわくスクール(夏休み、冬休み) ② コズミックカレッジ(JAXAプログラム) ③ 地域学校協働本部事業の実施		
事業の対象	①、② 参加を希望する小学生(回によっては保護者参加可能) ③ 町内、小中学校		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	268 千円	539 千円
			令和4年度予算
			2,323 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもたちが意欲的に参加し、学年や男女問わず楽しく学習できるプログラムを提供する。 ①、② 満足度80%以上 ③ 対前年比 +5%		
実績・成果等 (数値)	① わくわくスクール サマースクール(1回) 満足度95.7%、参加者数23人 ウインタースクール(1回) 満足度88.9%、参加者数27人 ② コズミックカレッジ 満足度98.0%、参加者数31人(リモート開催) ③ 学校協働活動ボランティア 対前年比152% (延べ 協力回数152回、協力者数208人)		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☐ 達成できている		
	☒ おおむね達成できている		
内部評価	☐ 達成できていない		
	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	①わくわくスクールは、参加者アンケートの満足度が非常に高く、青少年教育事業として定着している。家庭教育事業との連携で保護者も参加できるようにし、保護者同士の情報交換や家庭教育支援チームとの交流も視野に入れている。 ②コズミックカレッジは、コロナ禍のため、リモートによるJAXA講師の指導により、宇宙に関する学習のほか、親子でのペットボトルロケット製作の体験活動を実施できた。 ③地域学校協働本部事業は、学校からの要請に応じて活動するため、コロナ禍ではあったが昨年度より協力回数、人員とも大幅に増えた。地域と学校の結び付きを維持するきっかけとなることから、引き続き学校への働きかけに努めていきたい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	成人教育事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	町民の余暇活動の充実を図り、いきいきと活力にあふれる地域社会を創るための学習講座を開催する。また、体に不自由を抱える方の社会参加を後押しするため、障がい者を対象とした学習機会の提供を図る。			
事業の内容	生涯学習講座の開催			
事業の対象	受講を希望する方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	224 千円	373 千円	395 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	継続の講座に加え、新規講座で学びの機会を増やすことで余暇活動の一層の充実を図る。また、生涯学習講座の自主サークル化を図る。 目標値 生涯学習講座の自主サークル化 50%以上			
実績・成果等 (数値)	受講者数 ・ハンドメイド講座 15人 ・ハンドドリップコーヒー講座 24人 ・詩吟入門 11人 ・お菓子作り講座 30人 ・パステル和アート講座（障がいをお持ちの方対象） 4人 自主サークル化 100%（対象講座：詩吟入門講座、お菓子作り講座）			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ 十分必要でない		☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する		☒ おおむね寄与する	
	☐ 十分寄与していない		☐ あまり寄与していない	
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている		☐ おおむねできている	
	☐ 十分できていない		☐ できていない	
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない		☐ 達成できていない	
	内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	いずれの講座も、回を重ねるごとに、講師と受講生、受講生同士が打ち解け、よりよい講座になるよう協力し合う姿が見られる。2年目終了の詩吟入門講座は、自主サークルとして活動することとなった。また、障がい者を対象とした講座を引き続き開設し、障がいのある方の学習機会の拡大にも寄与している。今後も講座の開設にあたっては、住民のニーズに留意し取り組むことが必要と考える。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	高齢者教育事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	心身ともに元気で生きがいをもって暮らせるよう、楽しく仲間づくりができる学習や交流の場を提供する。		
事業の内容	美郷いきいき大学の開催(年6回)		
事業の対象	60歳以上の町民で受講を希望する方		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	78 千円	54 千円
			令和4年度予算
			408 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	高齢者が生きがいを持って継続して受講できるように、参加型の講演会や町外研修、創作活動等、魅力のあるプログラムを提供する。 目標値 参加者数対前年度+5%、満足度80%以上		
実績・成果等 (数値)	当初、6回の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、2回のみの開催となり、また、コロナ禍で参加を見合わせる受講生も多かった。(参加者延べ183人)一年の振り返りとしての満足度調査は、閉講式が中止となったため実施していない。		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	コロナ禍により開講式が9月にずれ込む等変則的な開催になり、実施回数、受講生とも多くなかったが、感染症予防に細心の注意を払い、参加者の満足度を上げられるよう、内容や進行の仕方に一層気を配った。健康に関する講演、実技では、2会場で余裕をもって開催するなど、ソーシャルディスタンスに対応した運営ができている。今後も、アンケート調査の分析などを行い、魅力的なプログラムの提供を図っていきたい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	芸術鑑賞事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	レベルの高い芸術・文化に触れる機会を提供し、芸術文化の振興を図る。			
事業の内容	・自衛隊音楽隊コンサート開催 ・美郷中学校吹奏楽部員への演奏指導の実施			
事業の対象	鑑賞を希望する方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	1,020 千円	696 千円	1,415 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	令和3年度で、24年連続25回目のコンサートとなり住民の方へも定着している。中学生への音楽指導など、コンサート以外での音楽隊との交流を図る。 目標値 満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	・航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート 入場者数 200人、観覧者満足度 95.2% ・美郷中学校吹奏楽部への演奏指導(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
			☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
			☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
☒ 十分できている		☐ おおむねできている		
		☐ できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている		
		☐ 達成できていない		
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	新型コロナ感染対策のため、会場定員の半分の入場者とするともに、演奏時間を短縮しての開催となった。開催回数も25回目となり、歴史のあるコンサートである。鑑賞された方からは高い好評をいただいております、住民の期待も大きいことから、芸術に触れる機会として引き続き取り組んでいく必要がある。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	学友館等企画展開催事業 (芸術文化活動事業から改称)	担当課名	生涯学習課	
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	歴史文化財班	
		電話番号(内線)	0187-84-4040 (3403)	
事業の目的	住民の豊かな心を養い、芸術・文化に触れる機会を創出する。			
事業の内容	学友館特別展を開催することで優れた芸術・文化に触れる機会を提供し、個々の個性と想像力を育む。			
事業の対象	町内外の観覧を希望する方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	9,253 千円	13,860 千円	9,010 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	住民が芸術文化に触れる機会を創出し、豊かな心を養う。 目標値: 来館者延べ2,000人、アンケート調査による満足度80%以上			
実績・成果等 (数値)	・ヨネックス特別協力「バドミントンの世界展ー用具と人とその歴史ー」 (5月29日～6月27日、入館者:372人、満足度:96.8%) ・「美術／中間子 小池一子の仕事とMUJI ISー動詞の森ー」 (10月30日～12月12日、入館者:1,229人、満足度:90.9%) ・秋田県美術展覧会第20回仙北地域展 (1月15日～2月27日、入館者:421人、満足度:90.4%) ・大小島真木「起源と対話」木・火・土・金・水」図録出版 ※R2特別展開催記録 (500冊出版、11月14日に出版記念会開催)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である ☐ おおむね必要である ☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する ☐ おおむね寄与する ☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている ☒ おおむねできている ☐ できていない			
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている ☐ おおむね達成できている ☐ 達成できていない			
判定説明 及び考察	新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮しての実施となった。 アンケートによる満足度は9割を超え、芸術文化に触れたことで豊かな心の醸成につながった。なお、美郷町民の来館は5割未満であったことから、多くの町民から鑑賞していただくような対策の検討と、企画や展示内容の充実を図っていく必要がある。 図録出版は、大小島氏の協力のもと予定どおり出版することができた。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり	

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	芸術文化団体支援事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4105)
事業の目的	芸術文化団体の活動を支援する。			
事業の内容	美郷町芸術文化協会やかけ唄保存会などの芸術文化団体の事業に対して補助を行う。			
事業の対象	芸術文化団体			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	254 千円	260 千円	372 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	団体の事業に対して補助金を交付することで、団体の活動が活発化する。			
実績・成果等 (数値)	・美郷町芸術文化協会補助金 188,000円 補助金を活用し、芸術文化賞の選考・授与、会報の発行・配布、会員研修などを実施した。 ・かけ唄保存会補助金 72,000円 補助金を活用し、熊野神社で全県かけ唄大会(ライブ配信・視聴者120人)が開催された。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☒ 達成できている			
	☐ おおむね達成できている			
☐ 達成できていない				
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	助成により町芸術文化協会の活動が活発化し、会員相互の交流が図られた。また、会報「芸文協だより」の発行や芸術文化賞の選考・授与等により、町民の芸術文化への関心も高まった。 かけ唄保存会については、全県かけ唄大会をライブ配信により開催し、伝統芸能の保存につながっている。 今後も、芸術文化団体のさらなる活性化のため、支援を継続したい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	学習成果発表事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	学習成果を発表する機会を提供することで、会員の学習意欲向上を図る。		
事業の内容	美郷フェスタ文化展		
事業の対象	町の生涯学習講座受講者、サークルや団体の会員等で出品を希望する方		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	14 千円	－ 千円
			令和4年度予算
			47 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯学習講座の受講生やサークル・団体の会員等で出品を希望する方にも美郷フェスタへの出展を促し、学習意欲を喚起する。 目標値 美郷フェスタ文化展出展者数 250人以上		
実績・成果等 (数値)	美郷フェスタ文化展 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 (令和元年度出展者数 229人 741点)		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	－	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため	
判定説明 及び考察	美郷フェスタ文化展については新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったが、美郷フェスタ主要イベントの一つであり、学習意欲の向上のためにも実施したい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	－	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	美郷カレッジ開催事業 (旧 みさとびと育成プログラム事業 (美郷カレッジ))		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	社会教育班	
		電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)	
事業の目的	美郷町内外の方が、創造的で充実した人生を送り、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加していただくための学習機会を提供する。			
事業の内容	美郷カレッジの開催(9月25日から11月20日まで 計4講座)			
事業の対象	町内外で受講を希望する方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	676 千円	597 千円	909 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	地域づくりや地域文化創造に寄与する人づくりのため、魅力ある学習機会を提供する。 目標値 講座満足度80%以上、受講者数240人以上			
実績・成果等 (数値)	講師:阿部雅龍氏(リモート開催)、金井政明氏、小松 守氏、辰野 勇氏 満足度 96.5% 受講者数 447人(町内約64%、町外約36%) 今後も受講希望 87%			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
			☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
			☐ あまり寄与していない	
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている		☐ おおむねできている	
			☐ できていない	
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価			☐ 達成できていない	
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	「拓(たく・ひらく)」を共通テーマとして4講座を開催した。身近な分野から専門的事項まで、各界の第一線で活躍する幅広い講師陣を招聘することにより、受講者の知的好奇心が掻き立てられていることがアンケートから読み取れる。 また、新型コロナウイルスの感染拡大により、第1回目はZoomを活用したリモートにより実施した。昨年度に引き続きの取り組みであったが、双方向でのやりとりなどは参加者からも好評であった。全体の満足度は約9割。継続受講希望者も9割を超えるなど、事業への期待は非常に高いものと考えられる。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	伝統行事等伝承事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	伝統行事を地域で継承することで、地域活動の活性化を図る。			
事業の内容	① 六郷の七夕まつり(舟ッコ流し)の開催 ② 六郷カマクラ保存会への補助			
事業の対象	① 六郷地区各町内会 ② 六郷カマクラ保存会			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	378 千円	421 千円	1,628 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	郷土の誇りである伝統行事が地域で継承され、その活動を通じて地域活動が活性化する。			
実績・成果等 (数値)	① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、舟ッコ流し実行委員会において「川入り」は中止とした。練りまわりや七夕飾り等は各子ども会に実施判断を委ね、結果、18町内中7町内(前年度比4町内増)が実施した。 ② 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、六郷カマクラ保存会において「竹うち」は中止、天筆掲揚・天筆焼きは伝統行事継承のため実施することとし、感染症対策をしたうえで2月15日に実施した。町は、実施にかかる費用の一部として団体に補助金(25万円)を交付した。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
			☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
			☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
☐ 十分できている		☒ おおむねできている		
		☐ できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている		
		☐ 達成できていない		
内部評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	① 少子化の影響で行事に参加できない(実施できない)町内子ども会が増え、伝統行事の継続が難しくなっている。運営主体含め、行事のあり方を検討していく必要がある。 ② 「町民の幸せを願う」本来の行事の姿に近づくことができた。町民が主体となって行事を行う組織作りを検討しており、町としても支援していきたい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B		評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	成人式事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	社会教育班
			電話番号(内線)	0187-84-4915(4103)
事業の目的	新成人の門出を祝福するとともに、新成人の自覚と誇りを喚起し、社会参加意識の高揚を図る。			
事業の内容	・成人式実行委員会の開催(成人式企画運営へ参画した。) ・成人式の開催			
事業の対象	令和2年度新成人 203名 令和3年度新成人 179名			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	143 千円	767 千円	799 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	実行委員会では、できる限り実行委員に企画・運営に参加してもらうことを目標とする。 目標値 成人式への参加率80%以上			
実績・成果等 (数値)	・実行委員会(令和2年度 4回 令和3年度 5回) ・コロナ禍によりYoutube、ZoomによるWeb開催とした。 令和2年度 実行委員出席者10人 Zoom参加者27人 Youtube最終視聴者590人 令和3年度 実行委員出席者 8人 Zoom参加者30人 Youtube最終視聴者372人			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
			☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
			☐ あまり寄与していない	
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
☒ 十分できている		☐ おおむねできている		
		☐ できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている		
		☐ 達成できていない		
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	成人式は、これまでの人生を振り返り、新成人としての自覚をもつ貴重な機会となっており、これまで町が主催し、令和3年度においてはコロナ禍でリモート開催するなどの工夫により行った。令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられることに伴い、成人式のあり方に関するアンケートを行った結果、20歳での開催希望が9割を超え、今後も20歳での開催としているが、開催意義を整理する必要がある。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☒ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	後三年合戦関連事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の施策名	生涯学習の充実	担当班名	歴史文化財班
		電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	平泉の世界遺産登録を契機として、後三年合戦の啓発を行い、地域の歴史研究の進展を図る。		
事業の内容	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会への支援		
事業の対象	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	0 千円	6 千円
			令和4年度予算
			40 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	後三年合戦を学ぶことにより、郷土の歴史の理解と郷土愛の醸成を図る。		
実績・成果等 (数値)	・新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮して事業を実施し、町は事業費の一部として団体に補助金(6千円)を交付した。 (事業等実施状況) 令和3年度末会員数56人 5月28日 総会及び講演会(講師:利部修氏、参加者数 29人) 12月4日 後三年金沢柵公開講座(参加者数 美郷町から35人)		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明及び考察	実行委員会が主体となって事業を実施しており、地域の方々が自ら郷土の歴史を学んでいる。後三年合戦関連遺跡の調査が進み、発掘成果を聞く講座を開催するなど、後三年合戦に対する理解や興味が深まった。郷土愛の醸成につながっており、引き続き支援が必要である。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	わら細工文化事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	地域の伝統文化である「わら細工」の保存と伝承を図る。			
事業の内容	わらの文化交流事業の開催			
事業の対象	町内外の参加を希望する方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	75 千円	0 千円	811 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	失われつつあるわら文化の保存と継承を目的に「わらの文化交流事業」を開催し、多くの方にわら文化の大切さを再認識してもらう。			
実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染症再拡大のため、開催周知直前に中止とした。代替事業として「わら細工体験づくり」のワークショップ開催を検討したが、同理由により開催に至らなかった。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☐ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
	☐ あまり寄与していない			
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている		☐ おおむねできている	
	☐ できていない			
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない			
	内部評価	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため	
判定説明 及び考察	開催には至らなかったが、令和4年度開催に向けて、講師等との調整を図った。 わら細工は伝統文化やSDGs(エネルギー、環境保全)の面で若い世代からも注目されており、文化継承のため映像記録やSNSを通じた情報発信が必要である。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	—	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	歴史文化財班
		電話番号(内線)	0187-84-4040(3407)
事業の目的	乳児と保護者が絵本を介してふれあうきっかけを作り、行政や地域に支えられながら健やかに子育てできる環境を提供する。		
事業の内容	美郷町内に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児および保護者に絵本を手渡し、家庭での読みきかせや絵本遊びを推進する。		
事業の対象	美郷町に住民登録している7ヵ月児、10ヵ月児の乳児とその保護者		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	363 千円	295 千円
			令和4年度予算
			424 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	7ヵ月児、10ヵ月児とその保護者に絵本を贈ることで、親子で本に親しむことをきっかけとして、触れ合い、語り合うことで、親子のきずなを一層深める。		
実績・成果等 (数値)	・毎月行われる乳幼児健診の際に贈呈した。 7ヵ月児63人(ブックスタートパック)、10ヵ月児77人(選択絵本2冊) ・民生委員、読み聞かせボランティアと共同で行い、町の子育て支援に関する情報提供も行った。		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	保護者と個別に対話しながら絵本を贈呈し、ブックスタートの意義を理解していただいた。受け取ったその場で絵本遊びを始めるなど保護者からも好評を得ており、絵本をきっかけとした親子のふれあい創出や読書推進に寄与している。また、保護者同士がつながる場にもなっており、子育て支援の一助となるよう、関係者の協力を得ながら事業を継続していきたい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	読書環境向上事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3407)
事業の目的	活字離れや読書離れが問題となっていることから、読書への興味を喚起し、「読む・考える・表現する」ための習慣づけの一助とする。			
事業の内容	①読書・図書館に関連したイベント等の開催 ②美郷町オリジナル絵本作成			
事業の対象	①参加を希望する方 ②美郷町オリジナル絵本ストーリー編成委員会			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	280 千円	680 千円	4,772 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	①美郷町読書フェスタ等関連事業を実施し、幅広い層に読書への関心を喚起するとともに本に親しんでもらう。 ②ストーリー案作成(令和5年度刊行)			
実績・成果等 (数値)	①関連事業の実施 ・8月1日 手づくりしかけ絵本教室(講師リモート、参加者53人、満足度97.7%) ・10月3日 美郷町読書フェスタ(参加者数延べ207人、満足度90.9%) ・10月6～16日 「心に残った本」紹介コンクール(応募数727点) ②オリジナル絵本 ・5月にストーリー編成委員会設置(委員5名) ・書面開催含め編成委員会を10回開催 ・ストーリー案の完成			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
	☐ あまり寄与していない			
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☒ 十分できている		☐ おおむねできている	
	☐ できていない			
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	①リモートの活用や人数制限など新型コロナウイルス感染症対策を講じ、幅広い年齢層の方から参加いただいた。町民同士の交流もでき、本に親しみを持ってもらう機会を提供したことで、図書館の貸出者及び貸出冊数の増加に少なからず影響を与えたものと思われる(令和2年度より8～9%増加)。今後も読書習慣につながる事業の展開と魅力ある利用しやすい図書館の環境整備を行う必要がある。 ②郷土愛の醸成と情操教育を内容としたストーリー案が完成した。令和5年度の刊行を目指して、挿絵等の作成を進める。			
事業の 方向性	☒ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	歴史文化財班
		電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	町内の史跡等重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、郷土の歴史や文化について学ぶ場所を提供する。		
事業の内容	町内の史跡等の維持管理、文化財等保存修復処理、文化財保護に関する啓発。		
事業の対象	指定文化財		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	2,877 千円	4,329 千円
			令和4年度予算
			4,123 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	町指定文化財の管理や歴史資料の修復等を行うことで、町の歴史について学習できる環境を整備する。		
実績・成果等 (数値)	- 文化財等保存修復処理 坂本東嶽邸所蔵品の書5点(本紙修復、額装等) - 町指定文化財の施設設備管理 施設維持、本堂城跡管理、草刈り、六郷一里塚柵更新、文化財標柱移設等		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	- 町収蔵資料の適正管理により、展示公開をとおして次世代に伝えていくことができるようになった。今後も収蔵資料の修復等を計画的に進めていく。 - 町指定文化財の施設設備を適正に管理しており、学習環境の整備と郷土の歴史や文化に対する理解、文化財保護意識が醸成されている。今後も文化財を適正に管理していく必要がある。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	埋蔵文化財調査事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	歴史文化財班
			電話番号(内線)	0187-84-4040(3402)
事業の目的	後三年合戦関連遺跡の調査を進めることによって、郷土の古代中世史を解明し、遺跡の保存・活用に努める。			
事業の内容	①圃場整備等開発行為に伴う遺跡の調査 ②後三年合戦関連遺跡調査			
事業の対象	①出川 I・屋敷田遺跡(六郷鑓田地区) ②南鎧ヶ崎遺跡			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	5,383 千円	6,502 千円	1,688 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	・郷土史の解明されていない部分の研究を進展させる。 ・発掘調査や遺物の整理を行い、学習する機会を設けることで町の歴史に対する関心と理解を深める。			
実績・成果等 (数値)	① 5～8月 発掘調査(平安時代末期の集落跡の一部を検出) 7月31日 遺跡見学会(参加者数52人) ② 9月 南鎧ヶ崎遺跡分布調査(鍛冶遺構1基ほか発見) 12月4日 後三年合戦金沢柵公開講座(南鎧ヶ崎遺跡調査成果発表)			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☐ 十分必要である		☒ おおむね必要である	
	☐ 十分必要でない		☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する		☒ おおむね寄与する	
	☐ 十分寄与していない		☐ あまり寄与していない	
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている		☒ おおむねできている	
	☐ できていない		☐ できていない	
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない		☐ 達成できていない	
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	郷土史のこれまで解明されていなかった部分の研究が調査を通じて少しずつ進展し、その成果を地域住民に公開したことにより、町の歴史への関心と理解が深まった。 圃場整備に伴う遺跡調査が今後も実施されることから、調査結果を町民に公表して、郷土の歴史に対する関心を啓発していきたい。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	ニュースポーツ教室等事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	生涯にわたり誰でも気軽に親しむことができるニュースポーツ教室を開催するなど、スポーツに親しむ機会を提供することによって、健康的なライフスタイルの充実と、健康増進を図る。			
事業の内容	ニュースポーツ教室、屋内ウォーキング教室、屋外ウォーキング、水泳教室の開催。(美郷町総合型スポーツクラブ委託事業)			
事業の対象	町民			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	803 千円	803 千円	803 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	生活習慣の一部としてスポーツを行うことが参加者の健康増進につながるため、参加人数の増加に加え、定期的な参加を促進する。 目標値 参加者合計人数 1,000人以上			
実績・成果等 (数値)	・ニュースポーツ教室(ユニカール・ラージボール卓球他):33回、参加者数 448人 ・屋内ウォーキング教室(ノルディックウォーキング他):33回、参加者数 251人 ・屋外ウォーキング:町内2回・町外13回、参加者数 延べ 264人 ・水泳教室(小学校1～3年生):4回、参加者数 20人 参加者合計人数 983人			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
	☐ あまり寄与していない			
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている		☒ おおむねできている	
	☐ できていない			
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている		☒ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない			
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	・ニュースポーツ教室、屋内ウォーキング教室は、新型コロナウイルス感染症拡大及びワクチン接種会場により2～3月は一部休止したが、4～1月までは毎週1回開催して運動する機会の提供につながっており、引き続き行っていく。 ・屋外ウォーキングは各地の魅力あるコースを選定し行っている。 ・水泳教室は、子どもたちにとって水に慣れ、苦手なことを克服するために必要な教室であるので、今後も実施していく必要がある。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	冬期スポーツ教室事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	冬期における運動不足の解消とスキー技術の習得を図りスポーツに関わる機会を提供し、冬期間のスポーツ活動を創出する。			
事業の内容	町内の小学校低学年を対象としたスキー教室の開催			
事業の対象	小学校低学年(1～2年生)			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	121 千円	138 千円	156 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	子どもたちが冬期スポーツに親しむため及び冬期の運動不足解消へ向けたきっかけづくり。			
実績・成果等 (数値)	1月8日～10日に開催し、スキー教室の申込者数は60人(1年生44人、2年生16人)申込みで、当日の参加者は8日59人、9日59人、10日59人であった。指導に関わった美郷町スキー連盟の方は3日間で延べ42人、また、補助として美郷町スポーツ推進委員から3日間で延べ21人の協力をいただいた。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☐ 十分必要である		☒ おおむね必要である	
	☐ 十分必要でない		☐ あまり必要でない	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する		☒ おおむね寄与する	
	☐ 十分寄与しない		☐ あまり寄与していない	
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている		☒ おおむねできている	
	☐ できていない		☐ できていない	
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない		☐ 達成できていない	
	内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	申込者数、当日の参加率をみる限りニーズのある事業だといえる。冬期スポーツに親しむきっかけはもちろん、他小学校の児童や町スキー連盟の指導者との交流でコミュニティの形成にも寄与している。町スキー連盟の協力で開催しているが、スキー指導者の高齢化等から指導員の減少が今後懸念されるが、引き続き継続する必要がある。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	少年スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の施策名	生涯学習の充実	担当班名	スポーツ振興班
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	スポーツ少年団の活動を通じて交流や融和が図られるとともに、心身の向上や社会性を育み、青少年の健全育成を涵養する。		
事業の内容	スポーツ少年団に対する育成費用と上位大会出場の団及び団員(選抜)等に対し、派遣費用の経費を助成する。		
事業の対象	スポーツ少年団及び団員		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	1,298 千円	2,112 千円
			令和4年度予算
			2,445 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツを楽しみながら多様な価値観を認め合う機会を与え、青少年の健全育成を推進する。		
実績・成果等 (数値)	・スポーツ少年団 20団体 381人が団員登録 ・選手派遣費補助 7団体 12大会へ補助 (卓球、陸上、空手、ミニバスケットボール、相撲)		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	スポーツ少年団の活動は親の会の協力体制の充実により活発に行われ、活躍も目覚しく各種大会で好成績を収めており、子どもたちの心身の向上や社会性を育む一助となっていると考えられる。今後も、スポーツを楽しむという概念をもって引き続き青少年の健全育成を推進していく必要がある。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	スポーツ少年団のがんばりは、子どもを持つ親だけでなく、地域全体に喜びが伝わるものであるため、町広報のほか、様々な手段での周知を検討してほしい。

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	町民スポーツ大会事業		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	町民へ多くのスポーツ種目との出会いの機会を提供することで、交流機会を創出して、コミュニティの醸成と運動意識の向上を図る。			
事業の内容	中学校新人駅伝大会の開催に加え、14種目の町民スポーツ大会を美郷町体育協会に、ユニカール大会は美郷町総合型スポーツクラブに委託し開催。			
事業の対象	全町民、大仙市・仙北市・美郷町の中学生			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	1,983 千円	1,906 千円	2,105 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	健康づくりのために町民にスポーツを楽しむ機会の創出を図り、参加者の増加に繋げる。			
実績・成果等 (数値)	・中学校新人駅伝大会 10月26日開催:男子14校、女子13校(各校1チーム)参加 ・町民スポーツ大会 バスケットボール・バレーボール・卓球・グラウンドゴルフ・マレットゴルフ・テニス・相撲・パークゴルフ・野球・バドミントン・山岳・サッカーの各協会が町民スポーツ大会を開催した。1,568人参加。 スキー・ゴルフは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・ユニカール大会 3月5日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である ☐ おおむね必要である ☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☐ 十分寄与する ☒ おおむね寄与する ☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている ☒ おおむねできている ☐ できていない			
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☐ 達成できている ☒ おおむね達成できている ☐ 達成できていない			
判定説明 及び考察	・中学校新人駅伝大会は、新型コロナウイルス感染症対策により男女各校1チームの参加で開催となったが、競技者の意欲向上につながっている。 ・町民スポーツ大会は、地域の連帯感と世代間交流が図られている。 ・各大会が年代層への運動機会の提供につながっており、今後も、健康づくりのためにスポーツを楽しむ機会の創出を図っていく必要がある。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり	

事業評価シート

事務事業名	スポーツ活動支援事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	スポーツ振興班
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	スポーツの普及と定着化を進めるために、活動の核となる体育協会を育成し、町スポーツの発展のため、体育協会事業のスポーツ賞を支援する。		
事業の内容	町体育協会の運営、育成、スポーツ賞授与、バス遠征費を助成する。		
事業の対象	町体育協会及び加盟スポーツ団体		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	768 千円	768 千円
			令和4年度予算
			768 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	生涯スポーツ振興のために体育協会の運営を支援し、加盟スポーツ団体の組織力強化に努める。		
実績・成果等 (数値)	町スポーツ賞の授与と体育協会を通して、18の加盟団体に育成費の助成を行った。		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
判定説明 及び考察	町スポーツ賞は、町民がスポーツを行う上での一つのきっかけともなるため、継続する必要がある。体育協会加盟団体は、会員の高齢化傾向も見受けられるが、多くの町民がスポーツに参加できる環境づくりに努めており、今後も町体育協会に支援することにより、生涯スポーツの発展を図っていく必要がある。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	B	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	ホストタウン推進事業 (交流キャンプ推進事業)		担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実		担当班名	スポーツ振興班
			電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	タイ王国のホストタウンとしての相互交流の促進と2021年に延期となった東京2020オリンピックの機運醸成を図る。			
事業の内容	・東京2020オリンピックの機運を醸成する事業の実施 ・タイ王国との文化・教育・経済の交流推進			
事業の対象	町民			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	4,407 千円	1,546 千円	— 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	・タイバドミントンナショナルチームの事前キャンプの受入態勢を整備 ・タイ王国との国際交流の機会の拡大			
実績・成果等 (数値)	東京2020オリンピックに出場するタイバドミントンナショナルチームの事前合宿が中止となったが、ホストタウンとしてチームの活躍を祈念した応援メッセージを作成し、オリンピック競技前にチームへ送付した。応援メッセージ協力187人参加(作成88人+YouTube視聴99人) 【事前合宿の中止等に伴うホストタウン推進事業の中止】 ・公開練習の見学や練習風景のweb配信 ・オンラインを活用した町民、プーアン、小中学生等との交流 ・選手村への出発式(激励会) ・パブリックビューイングの開催 ・タイ文化講座の開催			
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)			
	☒ 十分必要である		☐ おおむね必要である	
	☐ あまり必要でない			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	☒ 十分寄与する		☐ おおむね寄与する	
	☐ あまり寄与していない			
事業の 評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	☐ 十分できている		☒ おおむねできている	
	☐ できていない			
事業の 評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	☒ 達成できている		☐ おおむね達成できている	
事業の 評価	☐ 達成できていない			
内部評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	新型コロナウイルス感染症拡大防止により事前合宿は中止となったが、ホストタウン推進事業としてタイバドミントンナショナルチームへ応援メッセージの送付を実施した。東京2020オリンピックが終了とともにホストタウン推進事業も終了したが、今後も東京2020オリンピックを契機としたタイ王国との交流を継続し、文化・教育・経済の交流を推進していく。			
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☒ 休止、廃止を検討する			
外部評価	A		評価委員意見	内部評価のとおり

事業評価シート

事務事業名	聖火リレー運営事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の 施策名	生涯学習の充実	担当班名	スポーツ振興班
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	聖火リレー関連イベントを行い、東京2020オリンピックの機運醸成を図る。		
事業の内容	聖火リレー関連イベントの開催		
事業の対象	町民		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	— 千円	7,372 千円
			令和4年度予算
			— 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	聖火リレーランナー等を応援することを通じて、友情・連帯・フェアプレーのオリンピック精神に触れる。		
実績・成果等 (数値)	・6月8日に東京2020オリンピック聖火リレー美郷区間を実施し、美郷町総合体育館リリオスから美郷町宿泊交流館ワクスまでの区間では、5人のランナーが、美郷中学校グラウンドの区間では、自転車による聖火リレーを行った第1走者をはじめ、6人のランナーが聖火を繋いだ。観覧者1,253人 ・8月16日に東京2020パラリンピック採火式を坂本東嶽邸で開催し、採火は町在住の大曲支援学校の高等部生徒3人が縄文式の火起こしで行い、採火した火は秋田市で開催された秋田県集火式にお届けした。観覧者31人		
事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない	
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	新型コロナウイルス感染症拡大により、一部イベントの制限や感染症対策を施しながら実施し、聖火リレーや採火式を通して町民の東京2020オリンピック・パラリンピックへの期待と関心が高まり、感動の共有につながった。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☒ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度

事業評価シート

事務事業名	企業連携事業	担当課名	生涯学習課
総合計画の施策名	生涯学習の充実	担当班名	スポーツ振興班
		電話番号(内線)	0187-84-4916(4301)
事業の目的	ヨネックスと連携し、スポーツ教室による競技力の向上と東京2020オリンピックの機運醸成を図る。また、モンベルと連携し、登山教室による美郷中学生への情操教育に寄与する。		
事業の内容	・一流のアスリートによるスポーツ教室の開催 ・美郷中学生への登山教室の開催		
事業の対象	町民		
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	— 千円	498 千円
			令和4年度予算
			1,103 千円
評価年度目標 (目指すべき姿)	個々の体力やライフスタイルなどに応じてスポーツに取り組む習慣を身につけるため、様々なスポーツ種目に親しめる機会を創出する。		
実績・成果等 (数値)	【ヨネックス連携事業】 ・11月13日にオリンピックに出場した潮田 玲子氏、高橋 礼華氏、北都銀行バドミントン部コーチの田中志穂氏を講師に迎え、リオスを会場にトークショー＆バドミントンクリニックを開催した。美郷中学校の男女バドミントン部40人、町民150人参加。 ・11月27日、同社社員でソフトテニスの国内大会で活躍している榊原 耕平氏を講師に迎え、総合体育館リオスを会場にソフトテニス教室を開催した。美郷中学校の男女テニス部38人、町民33人参加。 【モンベル連携事業】 ・10月12日にモンベル、美郷山岳会の協力を得て、真昼岳赤倉登山口から山頂までのコースで登山教室を開催した。美郷中学生徒6人、保護者1人、スタッフ13人参加。		
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
判定説明及び考察	スポーツ教室では一流アスリートの直接指導により競技者の技術習得や士気の高揚につながった。登山教室では初めて登山する参加者が多かったが、きつい中耐え、互いに協力して登ったことで、達成感や充実感を味わい、登山の魅力を伝えることができた。今後も連携企業の協力を得て、スポーツの魅力発信と競技力向上を図る機会を創出していく必要がある。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策 評価事業一覧

No.	事業名	担当課名	班名	令和3年度 評価
1	子育て世帯等臨時特別支援事業費	教育推進課	教育総務・指導班	A
2	県外大学生等応援事業	教育推進課	教育総務・指導班	A

令和3年度

事業評価シート

コロナ対策事業

事務事業名	子育て世帯等臨時特別支援事業	担当課名	教育推進課																				
総合計画の施策名	子育て支援の充実	担当班名	教育総務・指導班																				
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)																				
事業の目的	令和3年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、子育て世帯を支援するための臨時特別給付金を支給する。																						
事業の内容	0歳～18歳(高校生)の児童がいる子育て世帯に対し、生活を支援するために一時金を支給する。																						
事業の対象	0歳～18歳(平成15年4月2日～令和4年3月31日生まれ)の児童がいる子育て世帯																						
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算																				
	金額	— 千円	229,255 千円																				
			令和4年度予算																				
			— 千円																				
評価年度目標 (目指すべき姿)	児童手当の仕組みを活用し、子ども一人につき現金10万円を迅速に支給する。																						
実績・成果等 (数値)	・町広報紙(1月号)とホームページで給付について周知した。 ・令和3年9月分の児童手当受給者(公務員世帯除く)に対しては、申請なしで令和3年12月27日に給付した。 ・高校生及び公務員世帯、新生児(令和3年12月1日から令和4年3月31日まで生まれた児童手当支給対象)世帯に対しては、申請書に基づき令和4年1月以降随時給付した。 ・所得超過による国庫補助対象外世帯についても、町単独で給付した。 <table border="0"> <tr> <td>児童手当受給世帯</td><td>@100,000×1,734名</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>高校生世帯</td><td>@100,000×</td><td>276名</td><td></td></tr> <tr> <td>公務員世帯</td><td>@100,000×</td><td>235名</td><td></td></tr> <tr> <td>新生児</td><td>@100,000×</td><td>34名</td><td></td></tr> <tr> <td>特例給付(所得超過)</td><td>@100,000×</td><td>7名</td><td>合計2,286名</td></tr> </table>			児童手当受給世帯	@100,000×1,734名			高校生世帯	@100,000×	276名		公務員世帯	@100,000×	235名		新生児	@100,000×	34名		特例給付(所得超過)	@100,000×	7名	合計2,286名
児童手当受給世帯	@100,000×1,734名																						
高校生世帯	@100,000×	276名																					
公務員世帯	@100,000×	235名																					
新生児	@100,000×	34名																					
特例給付(所得超過)	@100,000×	7名	合計2,286名																				
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)																						
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない																				
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)																						
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない																				
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)																						
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない																				
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)	☒ 達成できている																						
	☐ おおむね達成できている																						
内部評価	☐ 達成できていない																						
	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている																					
判定説明及び考察	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化で、子育て世帯の生活に様々な影響を及ぼしている中、児童手当の仕組みを活用したことにより、児童手当受給世帯に対しては、国が示した12月給付を達成することができた。また、高校生・公務員・新生児等の随時給付についても、滞ることなく早急な給付を行なった。このことにより、一時的に子育て世帯への生活の支援ができた。																						
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☐ 継続実施する ☐ 改善見直しを検討する ☐ 休止、廃止を検討する ※単年度事業のため該当なし																						
外部評価	A	評価委員意見	内部評価のとおり																				

令和3年度

事業評価シート

コロナ対策事業

事務事業名	県外大学生等応援事業	担当課名	教育推進課
総合計画の 施策名	子どもの教育の充実	担当班名	教育総務・指導班
		電話番号(内線)	0187-84-4914(2406)

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活が制限され、町外の学校に在籍する学生には帰省を自粛していただくなど、親元を離れて不安を感じながら過ごしていることから、美郷町の特産品をお届けし、少しでも学生の皆さんの気持ちが和み、これからの学生生活が快適で有意義なものになることを願い実施する。			
事業の内容	遠方でがんばる学生へ美郷町の特産品をお届けし、ふるさと美郷から元気を与える。			
事業の対象	美郷町出身で町外に住所のある学生で、高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方			
事業費	年度・区分	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
	金額	1,437 千円	338 千円	2,400 千円

評価年度目標 (目指すべき姿)	美郷町外に住所を有する学生で、高等学校、専修学校・短期大学・大学・大学院等に在学しており、保護者が美郷町内に住民登録をしている方に対し、美郷町の特産品を贈呈する。			
実績・成果等 (数値)	・町広報紙やホームページ、Facebookでの周知を図り、申請受付を窓口や郵送によるものの他、メールでの受付を行なって、学生等が気づきやすかつ申込みしやすいようにした。 ・美郷町特産品 贈呈者数 (高校生:2人、大学生等:47人)			

事業 の 評 価	必要性(町民のニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
判定説明 及び考察	・町外に住む美郷町出身の学生に対し、美郷町の特産品を届けることで、ふるさと美郷から元気を与えることができ、改めて美郷の良さに気付いてもらうきっかけとなった。 ・申請書の提出を受け、該当となった学生全員に特産品を贈ることができた。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する	☒ 継続実施する	☐ 改善見直しを検討する
	☐ 休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	特産品に併せて、町広報やはがきを入れて、可能であれば近況をご報告いただくなど、ふるさととの交流に繋がるような工夫ができないか検討をお願いしたい。
------	---	--------	--